

千葉県

千葉県 農林水産部 流通販売課
地域事務局：株式会社ジェイアール東日本企画 千葉支社

CASE STUDY

事例



千葉県が誇る 農林水産物を活用して 国内外の新たな需要を創出

LFP
パートナー数
26
社・団体
2023.12現在

プロジェクト創出に至るまで

- ▶2022年1月に成田空港近くへ移転した成田市場を活用し、輸出やインバウンド需要の取り込みを目的に、千葉県が誇る農林水産物(さつまいも、梨、鯖)を活用するプラットフォームを構築。
- ▶成田市場参加事業者を含む、県内の中小食品加工業、金融業、農林漁業、地域商社、流通・販売業、飲食業などの事業者がプラットフォーム内で新たな商品開発に取り組み、農山漁村の活性化と国内外の新たな需要創出を目指しています。

- ▶開発商品は市場と直売所などのネットワークを築きながら、国内外向けの土産物としても流通させ、食のツーリズムを促し、交流人口の拡大につなげていきます。

左：2022年1月に成田空港近くに移転した「成田市場」。国内外へ食を提供する日本初のワンストップ輸出拠点として開場しました。

右：県では、千葉県の顔となる品目を核とした集中的なプロモーションを実施しており、そのうち卸売市場で取扱いがあるさつまいも、梨、鯖の商品化について協議しました。



STORY

プロジェクトの進行過程

千葉県ならではのアイデアで国内外に新たな魅力を創出します。



千葉県 農林水産部 流通販売課
農業ビジネス推進班 鈴木 珠生さん



2023年7月

研修会・戦略会議

LFP事業の趣旨や県のテーマであるインバウンドについての研修の実施、参加事業者のビジネスアイデアを発表し、品目別のグループに分かれて意見交換を重ねました。

1

2023年9月

プロジェクトの誕生

バルスタック(株)が中心となり、生産量日本一である千葉県産の梨をご当地土産として楽しめよう、菓子市場で人気の高いチョコレート菓子として加工するプロジェクトと、(株)さわらびが中心となり、本県を訪れる外国人の方にも片手で手軽に食べられるよう、パンと鯖などを組み合わせさせたテイクアウト商品のプロジェクトが生まれました。

2



2023年11月

商品開発の工程

梨は年間を通じて味わっていただけるよう、食品加工会社のフリーズドライ製法やホワイトショコラの含浸技術を活用し、6品種の梨で試作しました。鯖は消費者の流行に即した低温調理等の調理方法を生かし、和の要素を取り入れ、商品開発を行いました。

3

2024年1月

試食会の実施 & テストマーケティング

より多くの事業者と一般消費者の意見やアドバイスを参考にするための商談会出展や試験販売では、「他の種類でも展開を期待する」といった意見がありました。1月には県の報道発表と同時に、千葉銀行が出資した地域商社である、ちばぎん商店にてクラウドファンディングを実施しました。

4



VOICE

プロジェクトメンバーの声



バルスタック株式会社 代表取締役
氏家 正臣さん

LFPに参加して良かったのは、県内の事業者の方と「やりたいこと」「悩み」など、腹を割って話せたこと。今回の“梨”を使ったチョコレート菓子開発だけでなく、LFPをきっかけにビジネスパートナーになった企業もあります。LFPでの交流は、ビジネスチャンスの可能性もありますし、地域ビジネスの加速は地域発展につながるの、産官学にこの取り組みが広がればと考えています。



株式会社さわらび 代表取締役
上條 長永さん

2年ほど前にLFPの存在を知り、千葉県での活動を開始し、現在は、県内水揚げされた鯖のおいしさと気軽な魚食の普及を目指し“サバターロールサンドイッチ”の開発中。LFPには加工や販路の確保など各分野のプロが集まるので、商品開発に悩んでいる方などには最適な場所だと思います。千葉県は良いものがまだまだ眠っているので、それを発掘して地元が盛り上がりやすいですね。